

憲法九条を守るわかやま県民の会」ニュース

NO.91 09.1.13 発行「憲法九条を守るわかやま県民の会」事務局

県地評 Tel 073-436-3520 Fax 073-436-3554 E-mail w-chihyo@naxnet.or.jp

憲法9条違反の米への戦争支援をやめさせよう！

JR和歌山駅前で9日宣伝行動



1月9日「憲法9条を守るわかやま県民の会」と和歌山市9条センターは11時からJR和歌山前で各団体から12人の参加で9日宣伝署名行動を行いました。早朝に降っていた雨も止み、薄日が指す中、参加者はチラシを配りながら元気いっぱい通行人に署名への協力を呼びかけました。マイクを握った弁士は「自民・公明の与党は国会の会期延長までして新テロ特措法延長法案を強行した。アフガニスタンでますますテロが拡大している事態は戦争でテロをなくせないことを明白にした。カルザイ政権がタリバンとの交渉を開始し、平和的に紛争の解決をはかろうと

している中、給油活動など米軍への支援はこの流れに逆行するもの。憲法9条違反のアメリカへの戦争支援をやめさせよう」「憲法9条を持つ国にふさわしい医療、教育、外交の分野で国際貢献することこそ大切。」と訴えました。約1時間で65筆の署名が集まりました。



1. 18 宣伝・署名全県一斉行動成功へ各地で計画すすむ

前号では橋本・伊都、那賀、和歌山市、日高・御坊の各地域を紹介しましたが、今号はそのほかの地域を紹介します。

50人規模をめざして 海南海草

憲法9条を守る海南海草共同センター準備会は、12月17日に県民の会の藤井さんから、憲法問題をめぐる情勢と1.18県民総行動の意義についてお話しいただいたあと、地域での総行動について話し合いました。海南海草地域では毎月署名宣伝行動を行っていますが、「県民の会」からの提起を受け、今回の総行動に参加していこうと決定しました。また、1月8日に再度会議を開き、海南市の内海地域で署名行動を行うこと、事前のビラを配布すること、地域の9条の会や労働組合、民主団体からの参加者で50人規模をめざすことなど話し合いました。また、新婦人のみなさんがぜんざいを用意してくれることになりました。この行動をきっかけに各地域での取り組みが前進することをねがっています。

共同センター設立総会の後に行動 有田地域

有田地域では、18日の9時30分より有田教育会館で武内県地評議長を講師に改憲反対学習決起集会を開催し、その後、有田地域共同センターの結成総会を予定。終了後に署名行動をすることになっています。

2地域で行動計画 田辺・西牟婁

西牟婁地域では、「田辺9条の会」が計画する地域では10日に事前ビラ配布、18日には13時教育会館集合で署名行動、「輝け9条！芳養の会」が計画する地域では18日に事前ビラを配布、25日に13時明洋集会所集合で署名行動をそれぞれ計画しています。地域の労組、民主団体は2地域のいずれかに参加することになっています。

全構成員が2枚の署名用紙を持って！ 東牟婁

東牟婁地域では全構成員が2枚の署名用紙を持って打って出ることを計画。新宮では新宮ペアシテイ前で、勝浦では勝浦 A コープ前で、串本では串本オークワ前へいずれも14時から16時まで街頭署名を行うことになっています。

「九条の会・美浜」主催の第4回「戦争を語る会」に100人

1月10日（土）午後1時30分から4時まで美浜町地域福祉センターで100人を超える人が参加して「九条の会・美浜」結成3周年記念第4回「戦争を語る会」が開催されました。みぞれ混じりの寒い日にもかかわらず会場は参加者でいっぱいになりました。

「守り活かそう憲法9条」の演題で「県民の会」の坂本文博事務局長が、最近の憲法情勢について講演した後、尾浦浩美さん、小松雅也さんのお二人が、知覧基地から出撃して命を落とした特攻隊員の悲惨な戦争体験について語りました。集会参加者は、再び日本が戦争する国にならないように9条を守り抜こうと決意を新たにしました。